



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 ダイニック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3551 URL http://www.dynic.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大石 義夫  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務部門統括 (氏名) 木村 博 (TEL) 03-5402-3132  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,902	0.3	228	△7.9	280	△9.7	204	△16.4
2019年3月期第1四半期	9,873	1.2	247	△19.8	310	△23.6	244	△14.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △478百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 134百万円(△84.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	24.07	—
2019年3月期第1四半期	28.81	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	56,029	19,504	34.3
2019年3月期	54,587	20,194	36.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,225百万円 2019年3月期 19,923百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期(予想)期末の配当金30円は、創立100周年記念配当を含んでおります。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	2.7	550	25.7	600	23.9	400	7.2	47.20
通期	41,000	1.4	1,250	24.8	1,350	25.8	900	25.6	106.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,504,747株	2019年3月期	8,504,747株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	30,155株	2019年3月期	30,135株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,474,599株	2019年3月期1Q	8,474,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、個人消費の改善が進み緩やかな回復基調で推移しました。

一方、米中貿易摩擦、中国経済の減速、緊迫する中東情勢等の不安要因もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、売上高は9,902百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が228百万円（前年同四半期比7.9%減）、経常利益が280百万円（前年同四半期比9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は204百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,441百万円増加し、56,029百万円となりました。これは主に現金及び預金が638百万円、受取手形及び売掛金が883百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して2,131百万円増加し、36,525百万円となりました。これは主に、短期借入金が2,757百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して690百万円減少し、19,504百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月16日発表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,387,220	4,024,924
受取手形及び売掛金	8,521,914	9,404,918
電子記録債権	3,140,678	3,482,292
商品及び製品	3,935,292	4,205,719
仕掛品	1,232,543	1,219,569
原材料及び貯蔵品	2,430,884	2,431,246
その他	527,209	685,275
貸倒引当金	△81,549	△83,574
流動資産合計	23,094,191	25,370,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,060,093	16,167,516
減価償却累計額	△10,786,190	△10,866,662
建物及び構築物(純額)	5,273,903	5,300,854
機械装置及び運搬具	22,863,788	23,134,838
減価償却累計額	△19,062,502	△19,283,380
機械装置及び運搬具(純額)	3,801,286	3,851,458
工具、器具及び備品	2,935,272	2,956,652
減価償却累計額	△2,575,294	△2,607,750
工具、器具及び備品(純額)	359,978	348,902
土地	10,204,033	10,218,294
リース資産	328,573	318,752
減価償却累計額	△175,341	△153,102
リース資産(純額)	153,232	165,650
使用権資産	—	327,482
減価償却累計額	—	△47,955
使用権資産(純額)	—	279,527
建設仮勘定	264,833	240,902
有形固定資産合計	20,057,265	20,405,587
無形固定資産		
のれん	71,445	67,685
その他	73,756	66,891
無形固定資産合計	145,201	134,576
投資その他の資産		
投資有価証券	7,902,753	6,817,035
繰延税金資産	159,826	165,270
投資不動産	3,388,232	3,388,232
減価償却累計額	△933,219	△943,900
投資不動産(純額)	2,455,013	2,444,332
その他	814,067	732,359
貸倒引当金	△40,840	△40,840
投資その他の資産合計	11,290,819	10,118,156
固定資産合計	31,493,285	30,658,319
資産合計	54,587,476	56,028,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,251,108	8,857,931
短期借入金	12,339,033	15,096,507
リース債務	60,327	103,535
未払法人税等	87,357	59,495
賞与引当金	379,489	286,334
役員賞与引当金	22,000	17,565
環境対策引当金	6,530	6,530
設備関係支払手形	432,406	373,996
その他	927,683	1,100,119
流動負債合計	23,505,933	25,902,012
固定負債		
長期借入金	5,926,106	5,797,584
リース債務	115,403	362,747
繰延税金負債	1,729,344	1,404,984
再評価に係る繰延税金負債	1,298,595	1,298,595
環境対策引当金	10,397	10,397
退職給付に係る負債	1,526,760	1,468,549
その他	281,031	279,708
固定負債合計	10,887,636	10,622,564
負債合計	34,393,569	36,524,576
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	8,163,340	8,155,490
自己株式	△32,749	△32,764
株主資本合計	14,870,938	14,863,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,622,317	1,857,442
土地再評価差額金	2,799,017	2,799,017
為替換算調整勘定	△274,422	△201,838
退職給付に係る調整累計額	△95,201	△92,358
その他の包括利益累計額合計	5,051,711	4,362,263
非支配株主持分	271,258	278,776
純資産合計	20,193,907	19,504,112
負債純資産合計	54,587,476	56,028,688

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,872,988	9,901,819
売上原価	8,003,655	8,049,826
売上総利益	1,869,333	1,851,993
販売費及び一般管理費	1,621,877	1,624,198
営業利益	247,456	227,795
営業外収益		
受取利息	5,777	3,854
受取配当金	52,345	55,544
受取賃貸料	46,799	50,084
為替差益	—	3,938
雑収入	70,293	34,210
営業外収益合計	175,214	147,630
営業外費用		
支払利息	41,946	49,256
為替差損	25,341	—
雑損失	45,245	46,059
営業外費用合計	112,532	95,315
経常利益	310,138	280,110
特別利益		
固定資産売却益	21,738	400
特別利益合計	21,738	400
特別損失		
固定資産処分損	8,876	3,734
特別損失合計	8,876	3,734
税金等調整前四半期純利益	323,000	276,776
法人税等	101,152	72,030
四半期純利益	221,848	204,746
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,269	731
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,117	204,015

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	221,848	204,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,554	△764,875
為替換算調整勘定	△66,516	75,844
退職給付に係る調整額	6,633	2,843
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,133	3,527
その他の包括利益合計	△87,570	△682,661
四半期包括利益	134,278	△477,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,516	△485,433
非支配株主に係る四半期包括利益	△33,238	7,518



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している一部の在外子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「使用权資産(純額)」として279,527千円が計上され、流動負債及び固定負債の「リース債務」にそれぞれ43,955千円、239,957千円が含まれております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,089,199	3,332,175	1,724,629	9,146,003	726,985	—	9,872,988
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,252	2,035	88	33,375	244,203	△277,578	—
計	4,120,451	3,334,210	1,724,717	9,179,378	971,188	△277,578	9,872,988
セグメント利益	271,385	82,659	111,962	466,006	24,344	△242,894	247,456

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンシー商品及び運送・庫内整理等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△242,894千円には、セグメント間取引高消去15,231千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△258,125千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,142,714	3,326,775	1,699,912	9,169,401	732,418	—	9,901,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,418	1,372	99	44,889	239,594	△284,483	—
計	4,186,132	3,328,147	1,700,011	9,214,290	972,012	△284,483	9,901,819
セグメント利益	271,057	51,896	110,892	433,845	24,086	△230,136	227,795

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンシー商品及び運送・庫内整理等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△230,136千円には、セグメント間取引高消去16,906千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△247,042千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。